

子どものことを気にかける

例) 名前を覚えてあいさつする、毎回変わらない声かけをする、初回は簡単な自己紹介をする など

子どもなりの工夫を知り、がんばりを認める

つらいときにはそれを言っても大丈夫というメッセージもあわせて伝える

いろいろな気持ちをそのまま認める

打ち明けるペースを大切に「よく話してくれたね」と伝える

「あなたのせいではないよ」と言葉にして伝える

「いい子にしていたら早くよくなるよ」といった説明をしない、病気や病気の症状を、子どもに結びつけない

いっしょに楽しい時間を過ごす

子どもの好きな遊びをいっしょにする、関心ごとについて話す ゲームやアニメなど、普通の遊びでよいです

日常生活をサポートする視点をもつ

例) 食事、入浴、歯みがき、身だしなみ、生活リズム、学校の準備 など

病気の正しい知識をもち、ご本人ご家族のできていることに注目する

大人も自分のケアを大切にす、困ったら相談する

子どもの力を信じる

とりいれやすいことから試してみてください

